

キス製造原料としてはむしろ両成分含量の高い春に収穫するのが最適と考えられる。

以上本研究を行なうに当ってその機会を与えられ且御援助を賜った津村順天堂社長津村重舎氏、専務取締役津村重孝氏、および当研究所佐々木一郎氏に厚く感謝するとともに本実験に御協力戴いた鳥取県果農組合、森下組合長始め組合各位に深謝する。

Summary

During the period of one year and a half, starting in March, 1960 ending in September, 1961, the authors estimated the amounts of alkaloid and extractive component and value of specific weight (d') of powdered tissue of the root of *Atropa belladonna* L. cultivated in Tottori Prefecture and found the fact that there was a marked seasonal variation as in the Tab. 1 and Fig. 1. As the result, it became clear that these components and value of (d') reach maximum in the spring, decreasing to minimum during the summer and autumn.

□亙理俊次：写真集 植物 27 cm×22 cm, 図版 180 (植物種数 66) 解説 36 pp. 索引其他 5 pp. (解説中の写真数 58) 15 XI, 1961. 第一法規出版会社. ¥3,000. これは植物形態学者であり、また芸術的天分のゆたかな亙理氏が多年にわたる蓄積をまとめて公けにされようとする全6巻の第1巻である。集中には12枚の原色版もあるが単色写真に特有な味をいかすように、ことさら企画されたものらしく、したがってその効果がよくいっている。なにしろ科学者としての態度と良心はいささかも犠牲にしないで美的感覚をできるだけはたかせたところに真価と妙味とがある。こんなことはだれにもできるものではない。科学と芸術は究極においては帰一するだろうが両者を一致調和させることはなみだいてのことでないが亙理氏は意識的にか無意識的にか、その点相当に成功していることは疑をいれる余地がないようである。巻末には本職の片鱗をちらつかせて芸術家には手の出しにくい領域にふれていると同時に使用レンズやフィルムの種類を記して後からつく生物写真をとる人の参考としてある。内容、印刷、装訂ともに香りの高い作品を功利的に用いることはどうかと思うが、若しも学生や生徒の自然科学的指導実験の参考に利用するとしたら、高度の効果を発揮せずにはすまい。というのは顔をしかめて拡大鏡を使ってやっと見えるような造化のすぐれた機構が一目でわかるからである。終りに著者と関係者とが全巻の完成にまい進されるようお願いする。

Shunji WATARI: Plants, A Photo Album (1961) 27×22 cm. 180 photo portraits in monochrome for 66 spp. of plants including 12 in color. This is the first volume to be followed by five further volumes. Being a work of Dr. Watari who is an outstanding morphologist it is done strictly scientific but very artistic. Each plant has its own latin name. The explanation pages are in Japanese with 58 photographs bearing latin names. Publishers: Daiichi Hoki Publishing Co., Ltd., 31, Shiba Kotohiracho, Minato-ku, Tokyo. (久内 清孝)